

医労連速報 '15春闘



2015年2月23日 No. 13 東京都台東区入谷 1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

2月末までに 要求提出・スト権確立を必ずベアとる春闘に！

15春闘の要求提出・スト権確立の期限である2月末が間もなくです。消費税増税による物価高にも追いつかない賃金では、生活は成り立ちません。ストライキを背景に必ずベアスアップをとるために、産別統一闘争結集の準備を行いましょ！まずは、要求提出です。

全国組合は地場民間と連帯してたたかう準備を進め、各県では産別統一闘争に結集する単組を増やしています。力をつくし15春闘勝利を！（状況をどんどんお寄せください。）

全医労は12日の統一行動を「いい一日行動」で全国が決起。3月11日に防災行動が配置される全日赤も産別結集を追求、全労災も日程を合わせて取り組みます。

北海道では、これまで回答指定日が1ヵ月遅れていた単組が3月11日に合わせて結集。

東北地方協は、6県全体の経営要請をスタートします。山形では、2.6%の物価上昇に賃金が追いついていない、少なくとも定昇込み3%は当たり前だとスト回避基準を7500円で設定してたたかうことを決定しました。

関信は今週から経営者要請をスタート。東京でも部会毎に意思統一を行い、相互支援。大学部会は例年4~5月の回答ですが、3月11日を回答指定日として要求、ある大学では久しぶりの決起集会も配置しています。

北陸3県も民医連中心に経営要請。

昨年ベア獲得した愛知・名南会労組は、スト通告を行いながら要求説明団交を実施。経営者は「要求を受け止め、真剣に検討する」としました。また北医療生協労組も、指定日厳守しない場合の指名ストを通告し、産別結集を強化してのぞんでいます。

関西は23日に書記長会議を設定して意思統一、中国地方協でも民医連労組中心に経営者要請を行っています。四国地方協では年度末手当問題ですでに奮闘中の組織含め、23~24日の地方協会議で取り組みの強化を論議します。

九州地方協は16日から要請行動を開始。（添付ニュース参照）深刻な介護報酬マイナスの影響も明らかになりましたが、労働者の実態も深刻。長崎民医労の仲間は春闘アンケートで「賃金不足額5万円」が第1位と報告、賃金改善を要求しました。佐賀では全医労佐賀地区協からも連帯参加し8名、対応した専務理事も驚きました。専務理事は、介護報酬引き下げの影響の大きさにふれながらも4万円要求には理解を表明し、「詳しい資料も久しぶりにもらった。時間をかけて真面目に検討したい」としました。

福岡県労連の経営者団体要請でも、「安倍政権が100%信任されたとは思っていない。中央と大企業に利益が吸収され、地方の産業は大変」などと懇談が進んでいます。安倍暴走政治への怒りはどこでも共通、私たちの奮闘が期待されています。